

スギ樹皮を有効活用した ハタケシメジの野外栽培

近年、青森県内におけるスギの伐採量は増加傾向にあります。製材所や木材チップ工場では、加工の際に発生する**大量の樹皮(バーク)の処理が課題**となっています。

このバークの有効活用と、きのこの生産拡大を目指し、未利用のバークを活用した**ハタケシメジの野外栽培試験**を行いましたので、その内容を紹介します。

栽培試験の概要



栽培試験協力: 平内町藤沢地区町内会

試験の結果

きのこの発生状況

バークを活用した栽培可能



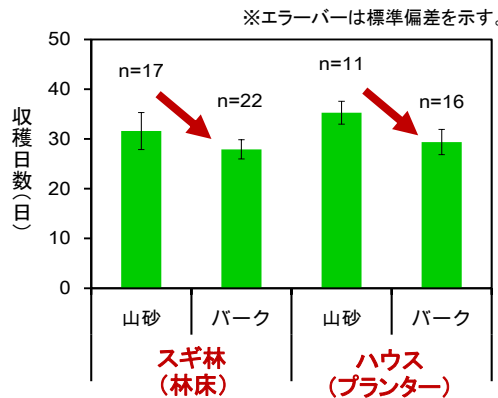
山砂、バーク共に発生割合100%

伏せ込みは9月下旬頃まで可能

課題 山砂やバークがきのこに食い込んだ

収穫までの平均日数

山砂よりバークの方が早く収穫可能



平均収穫量は...

収穫量の比較は違いが不明瞭

山砂やバークがきのこに食い込んだため、重量測定に影響した

今後の方向

きのこへの資材の食い込みなど課題を整理して、栽培方法の改善を行い、販売可能な品質を目指します。

お問い合わせ

林業研究所 森林資源部 (TEL017-755-3257)